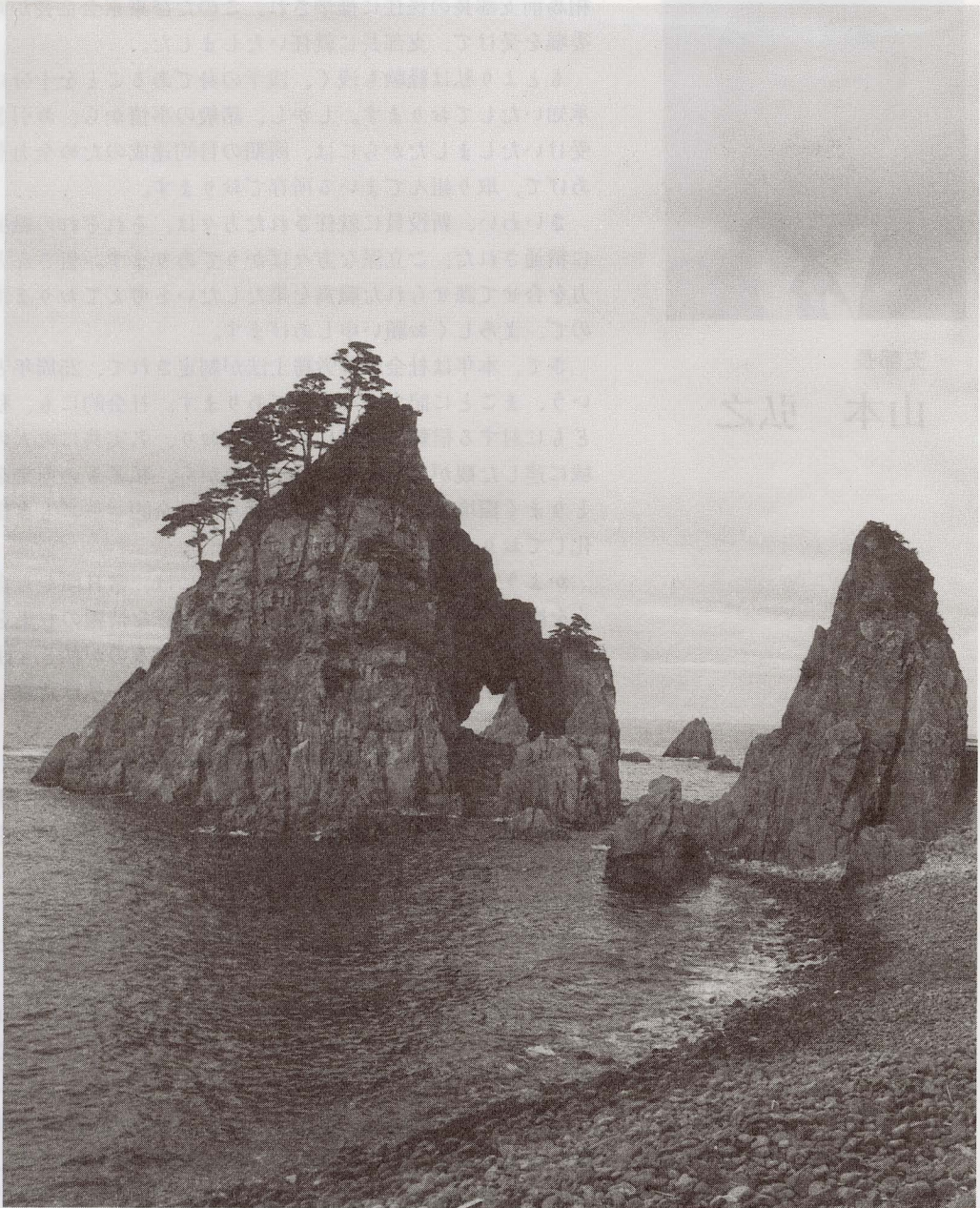


東京都社会保険労務士会 会報

千代田・中央支部

事務局 〒102 東京都千代田区九段南3-4-1 東京製本健保会館
東京都社会保険労務士会 千代田・中央支部 ☎03(3263)0931 発行人 山本弘之



小袖海岸（岩手県）

支部長就任のごあいさつ



支部長

山本 弘之

私は去る4月14日開催の第16回定例支部会議において、相馬前支部長の後任に推挙され、このたび東京会会長から委嘱を受けて、支部長に就任いたしました。

もとより私は経験も浅く、浅学の身であることを十分に承知いたしております。しかし、諸般の事情から、お引き受けいたしましたからには、所期の目的達成のため全力をあげて、取り組んでまいり所存であります。

さいわい、新役員に就任された方々は、それぞれの職域に精通された、ご立派な方々ばかりであります。皆さんと力を合せて課せられた職責を果たしたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、本年は社会保険労務士法が制定されて、25周年という、まことに記念すべき年であります。社会的にも、私どもに対する信頼は次第に高まっており、名実共に成人の域に達した観があります。しかしながら、私どもの斯業をとりまく環境は、日々変化しており、社会的ニーズも多様化しております。

かような、個々の要請に応えるためには、常日頃から自らを磨き、正しい専門的知識の習得と的確な情報の収集を怠ってはなりません。これをお手伝いをするのが私ども団体の使命であり、大きな仕事のひとつであると私は認識しております。

ご承知のように千代田・中央支部は650名に及ぶ多数の会員を擁しております。この会員の中から全国連合会、東京会の会長、副会長を輩出しており、いうなれば千代田・中央支部は全国の中心的存在であり、その責任はまことに重いものがあります。

私は、このことをよく自覚し、今後の支部運営にあたっ
てまいり所存であります。

事業の円滑な運営はなんといいたしても人の融和にあります。私は聖徳太子の十七条憲法にあります“和を以て貴しと為す”を旨として会員の皆さんの声をききながら、一生懸命事業活動に取り組んでまいりますので、前任者同様のご支援ご協力を賜りますよう切にお願い申しあげまして、一言就任のごあいさつといたします。

就任にあたって



政連支部会長

松林 清雄

私は、この度、皆さま方のご推せんにより、千代田・中央支部の政治連盟の支部会長を務めさせていただくことになりました。

私はもともと、会長という大任をはたすには役不足であり、果たして、会長という大役を責任をもってまっとうすることができるかどうか不安です。

幸いにして、敏腕な前会長代行、副会長、幹事長、幹事の方々のご支援をいただいて、会長となった以上、一大決心をもって東社労政連千代田・中央支部のために粉骨砕身し、全力をもって働く所存であります。

会員各位のあたたかなご協力をよろしくお願いいたします。

早いもので支部結成以来7年が経過し、8年目の年輪を重ねるべく、私共は政連の平成5年度、運動方針に向けて動き出しています。

6月の都議会議員選挙には、千代田・中央支部管内から、千代田区自民党現職の内田茂氏が立候補し、東京会より推せんされました。

これにともない、前支部長、相馬誠一、政連副会長、古川泰一郎、金綱久夫、富田秀子、幹事長、渡辺和洋、諸氏と共に、去る5月25日に東京会の推せん書を持参し、選挙での健闘と当選を祈念して激励をしてまいりました。

最後になりましたが、全国社会保険労務士会連合会の活動により社会保険労務士法の一部改正の実現をみる事ができました。法改正に務めてこられた関係者に感謝申し上げると共にお喜びを申し上げます。

これからの制度、充実改善を目指して、さらに前進活動を展開していこうではありませんか。

千代田・中央支部機構と委員会分掌業務表

支部長

山本 弘之
TEL(3263)0931
FAX(3265)7746

監 査

相馬 誠一 葛西 毅
TEL(3251)5141 (3861)7291
FAX(3251)5142 (3861)7438

副支部長

恩田 和明
TEL(3256)4451
FAX(3256)4452
沢崎 昇
TEL(3581)1231
FAX(3581)1611

総務委員会

1. 会員の掌握、連絡に関する事
2. 文章の起草、発受信保管等庶務に関する事
3. 関係官庁等渉外に関する事
4. 金銭出納、予算、決算等会計に関する事
5. 諸会議の開催
6. その他、他の委員会に属さない一切の事項に関する事

TEL FAX

委員長	浅香 博胡	(3252)6123	(3252)5742
副委員長	雨宮 功	(3863)7633	(3863)7634
	石井 弘	(3242)5301	(3241)3260
委 員	石原 健三	(3294)5307	(3294)9345
	仲野 三郎	(3265)0301	(3265)0340
	新堀 英行	(3254)1955	(3254)1953
	古川 泰一郎	(3263)1781	(3239)2248
	大槻 哲也	(5275)2801	(5275)2588
	小松 茂樹	(3292)5001	(3292)3186
	富田 秀子	(3206)9245	(3206)9247
	岡本 晃一	(3862)7541	(3862)9145
	長森 敏泰	(3264)6871	(3234)0049

研修委員会

1. 研究会、講習会等の企画・立案及び開催
2. 社会保険労務士業務の改善に必要な調査及び研究
3. 社会保険労務士業務に必要な資料、情報等の収集に関する事
4. その他教育、調査研究に関する事

TEL FAX

委員長	森 萩 忠義	(3865)9521	(3865)9524
副委員長	玉上 伸明	(3286)8688	(3286)4666
	藤原 久嗣	(3543)6326	(3543)6169
委 員	粉川 俊彦	(3265)7516	(3265)7613
	赤森 伸子	(3543)2069	(3543)2090
	鈴木 滋	(3221)9552	(3221)9516
	石川 英豊	(3541)4550	(5565)3308
	吉沢 盛雄	(3581)1231	(3581)1622
	橋本 敬司	(3262)1433	(3262)1474
	柳原 昭夫	(3265)2611	(3265)8220

広報委員会

1. 支部会報の企画・立案及び発行に関する事
2. 社会保険労務士に必要なPRに関する事

TEL FAX

委員長	牧野 武夫	(3542)8613	(3544)0316
副委員長	金網 久夫	(3291)4167	(3291)4163
	岡 三徳	(3572)8646	(3572)8673
委 員	山崎 雅也	(3669)0677	(3669)0679
	土川 浄三	(3546)2211	(3546)9532
	関口 尚孝	(3264)5958	(3264)5959
	松山 敏子	(3561)3051	(3561)9327
	吉本 伸太郎	(3667)9031	(3667)9033
	坂尾 孝	(3263)1781	(3239)2248

厚生委員会

1. 懇親会等の企画・立案及び開催に関する事
2. 旅行会等レクリエーションに必要な企画・立案及び開催
3. 会員のコミュニケーションに関する事

TEL FAX

委員長	柏木 弘文	(3295)4651	(3295)4650
副委員長	宮本 義信	(5256)5618	(5256)8358
	吉瀬 君江	(3534)0294	(3534)0294
委 員	眞島 功	(3264)2361	(3239)6127
	松林 清雄	(3553)9601	(3555)9823
	佐藤 信幸	(3265)0301	(3265)0340
	横尾 直子	(3234)5274	(3238)1813
	石野 喜次	(3272)2338	(3272)2333

(順不同・敬称略)

会員の相互理解を

厚生委員長 柏木 弘文

このたび、厚生委員長を仰せつかることとなりました。もとより若輩の私の任ではないことは自ら承知しておりますが、幸いにして、厚生委員の方々は、優れた方がおられますので、皆さまの強いご支援とお力添えをいただきながら、全力を尽してその責を遂行し、本会の発展を期する所存であります。

社会保険労務士会の躍進には個々の会員を組織化し、調和させることが最も大切な要素であります。そして、すべての調和の基盤となるのはコミュニケーションであります。それには、私達会員

一人ひとりが相互理解を深めあうことが必要です。

そこで、厚生委員会では会議を開いた結果、会員の親睦を図るため、初の試みとしてボウリング大会を10月下旬に開催したく計画いたしました。詳細については、9月中旬に会員皆さまにご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

これからは皆さまのご意見を尊重しながら厚生会の事業を進めるべく委員一同一丸となって頑張りますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

社会保険労務士会飛躍の時代、という認識で

あさ か ひろ き
総務委員長 浅香 博胡

平成5年6月4日、念願の登録即入会などの社会保険労務士法の一部改正が成立しました。加えて、本年は昭和43年12月2日の社会保険労務士法施行から数えて25周年にあたる節目でもあります。

このような重要な時期に、浅学非才の私が総務委員長をお引き受けすることになり、改めてこの重大さを感じ身の引き締まる思いであります。

90年代も半ばに差ししかかろうとしており、いよいよ若年労働力の減少段階に入り、高齢化社会に拍車がかかろうとしております。このような時期に社会保険労務士法が改正され、一層社会における社会保険労務士への期待も高まって来るものと思います。したがって、これからの数年間は、21

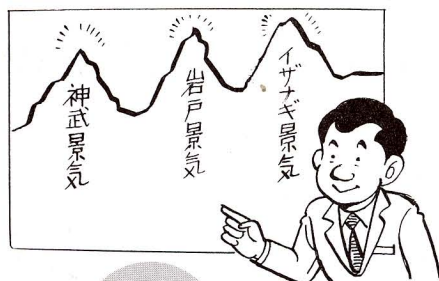
世紀に向けた支部活動及び支部組織を再構築すべき時期とも考えます。

支部は、最も会員に直結した組織でありますので、会員と共に活動していかなければなりません。ついては、微力ながら千代田・中央支部の活性化と発展のために、支部長を補佐し、支部における他の研修委員会、広報委員会、厚生委員会と連携した会の運営を図り、少しでも支部会員および社会の期待に添うべく努力する所存でおりますので、ぜひとも会員皆さま方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後に、会員皆さま方の積極的な支部活動への参加を、切にお願い申し上げまして、就任のごあいさつとさせていただきます。

最近の経済情勢をめぐって

講師・経済評論家 山村 昭七郎



去る6月8日、トラック健保会館で、日本の景気はなぜ悪くなったのか、これからどうなるのかをお話いただきました。(紙面の都合上、講演のうち一部のみとさせていただきます)

遅れた景気対策

景気は上がったたり下がったりしますが、日本は戦後いい景気が来たときに、「神武景気」、「岩戸景気」、「イザナギ景気」……と名づけたのであります。このように日本の景気は推移してきて、今度景気がよかったらなんと名づけようかと考え政府はほうっておいたのです。そして、景気対策の最初は、半年遅れの7月に初めて公定歩合を下げました。政府の対応が遅れたために、景気は底ばいになってしまいました。

バブルは大都市だけ

景気の状態の参考になるものとして、有効求人倍率があります。これが1以上であれば人手不足、1以下ですと人手余りです。いまの有効求人倍率は去年の10月から0.84で1を割っている。しかし、世の中がいっせいにこうではなく、日本のどの県が倍率を下に引っ張っているかというところ、東京、埼玉、千葉、神奈川、大阪、京都、奈良、兵庫など大都市で0.5ぐらいです。

地方はなぜ健在

なぜ地方は落ちていないかというと、もともと株式市場がありませんから、バブルがなかったのです。それが第1。それから第2点。日本のハイテク工場は労働力のある、水のきれいな地方、しかも飛行場へのアクセスがいいところにある。だから付加価値の高い、高く売れるハイテク製品を作っている能率のいい工場は、景気が悪くなっても運転を続けますので、その地区は景気が落ちなかったのです。

景気はあげたいのか

こういうようにいろいろな問題がありますけれども、現在のところ、景気は方向として上を向いていますから、これから景気は上がっていくはずですが、どういうかたちで押し上げるか具体的な話をしますと、景気が悪いと在庫が増え、生産を止めるのです。最近はその在庫が減ってきたから、生産がプラスになったという仮定が出てくる。このことを生産調整、在庫調整完了といい、景気を現在から押し上げるのは在庫調整であります。

景気は上がっていくか

昔はこうして生産が増え、設備投資が出て、いろいろなものが増えてきて、これはある業種、次はある別の業種ということで景気はずっと上がったのです。ところが現在、そのとおりにはいきません。例えば、不良債権というのは、すぐ決済できないんです。今期の決算でやるとか、来期でやるというのはとうていできない。これは期ごとに決算しますから時間がかかります。

今、リストラが完了している企業は全体の約半分。現在進行中の企業は全体のだいたい2割。残りの企業はもうダメです。私の計算では、残りのうちの半分ぐらい、全体の15%の企業はもうダメです。あれだけみんなが勝手なことをしたので、どこかに支障が出てくるはずですが。

今の景気は……

ですからいまの段階で、景気は底打ちという断定をするか、しないかという議論がありますが、それはいまの段階の議論。そのときにどこを見るか。景気はたぶん循環的な意味で生産回復、それから次は設備投資の回復が順調に出てきますが、ここで当然いえることは、景気は上を向くけれども、まもなく景気はスローダウンするという見方をすることをお勧めしたいと思います。

委員会 報告

第10回正副支部長委員長会議

2月12日東京会会議室にて
報告事項

- (1)東京会報告、部会並びに委員会の活動状況について
- (2)新春賀詞交歓会の収支報告について

協議事項

- (1)第4回幹事監査会議、第6回研修会の開催に関する件
- (2)第16回定例支部会議、第7回定期支部大会並びに懇親会（政連共催）の日程に関する件
- (3)平成5年度の事業計画及び予算（案）に関する件
- (4)平成5年度支部幹事、監査候補の推薦に関する件
- (5)中央区役所年金相談コーナー担当者への日当（交通費）支部補助支給について

第11回正副支部長委員長会議

3月10日東京トラック事業健保会館にて
報告事項

- (1)東京会の報告について
- (2)部会並びに委員会の活動状況について
- (3)平成4年度収入支出中間報告について
- (4)会員異動状況について
- (5)支部幹事、監査候補の各部会推薦名簿の確認について

協議事項

- (1)第4回幹事・監査会議、第6回研修会の役割分担に関する件
- (2)第16回定例支部会議並びに懇親会（政連共催）の開催に関する件
- (3)定例支部会議上程議案に関する件
- (4)支部幹事、監査候補の推薦について
- (5)議事運営委員会の設置について

- (6)役員選考委員会の設置について
- (7)東京都社会保険労務士会第15回通常総会代議員の選出並びに理および支部長候補の推薦について

第12回正副支部長委員長会議

4月14日電設健保会館にて
報告事項

- (1)東京会の報告について
- 協議事項
- (1)第5回幹事・監査会議、第16回定例支部会議並びに懇親会（政連共催）の役割分担に関する件
 - (2)定例支部会議上程議案に関する件
 - (3)その他

第1回正副支部長会議

4月23日東京製本健保会館にて
報告事項

- (1)第16回定例支部会議等開催結果について
- 協議事項
- (1)役員の職務分担について
 - (2)上半期事業計画について
 - (3)予算配分について

第1回正副支部長委員長会議

5月19日東京製本健保会館にて
報告事項

- (1)東京会の報告について
 - (2)部会並びに委員会活動について
- 協議事項
- (1)平成5年度事業計画について（第1四半期）
 - ①新規入会者懇談会開催について
 - ②平成5年度第1回研修会について
 - ③平成5年度第2回研修会について
 - ④算定相談コーナー打合せについて

第1回幹事・監査会議

5月19日東京製本健保会館にて
報告事項

- (1)東京会の報告について
 - (2)役員の担当編成について
 - (3)部会並びに委員会活動について
 - (4)平成5年度予算の配分について
- 協議事項
- (1)平成5年度事業計画について（第1四半期）

- ①新規入会者懇談会開催について
- ②平成5年度第1回研修会について
- ③平成5年度第2回研修会について
- ④算定相談コーナー打合せについて

第2回正副支部長委員長会議

6月8日東京トラック事業健保会館にて
報告事項

- (1)東京都社会保険労務士会諸会議の結果について
- ①第15回通常総会・第13回定期大会について
 - ②支部対抗野球大会について
- (2)部会並びに委員会の活動状況について

協議事項

- (1)支部例会について
- (2)第1回研修会について
- (3)算定基礎届説明会及び相談コーナー打合せ後の懇親会について
- (4)旧役員歓送会について



■会員異動状況

(単位：名)

項目	平成4年12月31日現在			異動（増減）			平成5年5月31日現在		
	開業	勤務等	計	開業	勤務等	計	開業	勤務等	計
麴 町	42	149	191	1	△8	△7	43	141	184
神 田	60	117	177	△1	0	△1	59	117	176
日本橋	32	92	124	△2	△2	△4	30	90	120
京 橋	49	96	145	0	△3	△3	49	93	142
計	183	454	637	△2	△13	△15	181	441	622

新・会・員・の・紹・介

年・月	氏 名	地区	形態	備 考	年・月	氏 名	地区	形態	備 考
H5.1	佐々間則之	神 田	開 業	台東支部より	H5.4	佐藤泰史	日本橋	勤務等	新宿支部より
	笹田 将	麹 町	勤務等		H5.5	小林幸雄	麹 町	開 業	中野・杉並支部より 墨田支部より
	中川聖明	日本橋	勤務等			垣田幸二	麹 町	開 業	
	矢尾 晃	日本橋	勤務等			安田恵子	神 田	開 業	
	吉田武夫	京 橋	勤務等			森本優子	京 橋	開 業	
H5.2	高山加代子	京 橋	勤務等	新宿支部より		高橋康夫	神 田	勤務等	
	山田文子	麹 町	開 業			春山信彦	神 田	勤務等	
	弓 道雄	麹 町	勤務等			佐藤 薫	神 田	勤務等	
	一丁田真里子	京 橋	勤務等			大山容正	神 田	勤務等	
H5.3	西川雅也	京 橋	開 業	江東支部より		石井 武	神 田	勤務等	港支部より
	鈴木 滋	麹 町	勤務等			吉村宏子	神 田	勤務等	
	岡 三徳	京 橋	勤務等			堀井清安	神 田	勤務等	
H5.4	白石勝正	京 橋	開 業	品川支部より		松尾嘉朗	神 田	勤務等	
	粉川俊秀	麹 町	勤務等			稲崎行雄	日本橋	勤務等	
	眞島 功	麹 町	勤務等			小木曾 伸	京 橋	勤務等	
	青山 榮一	日本橋	勤務等						
				葛飾支部より					



編集委員 の紹介

松山敏子

社労士としての仕事はなにもできませんが、時間だけはありますので、がんばりたいと思います。

〈プロフィール〉

誕生月 5月

出身地 神奈川県

出身校 早稲田大学商学部

趣 味 観劇

社会保険労務士法が 改正成立しました

各都道府県にある社会保険労務士会に入会しないと、対外的に社会保険労務士と名乗れなくなるなどを定めた、議員立法による「社会保険労務士法」の一部改正案が、4日の参院本会議で全会一致で可決、成立した。同様の規定は、既に税理士や行政書士にもあり、全国社会保険労務士会連合会などが要望していた。来年4月1日施行。

(読売新聞6月5日掲載)

年金相談実施中

社会保険労務士 による年金相談

毎月第4水曜日の午後1時から4時まで(申込は午後3時まで)、中央区役所の区民部国民年金課で年金の無料相談に応じています。

相談件数が多いので申し込みは早めをお願いしたいとのことです。

あとがき

いよいよ、夏本番です。皆さん、今年の夏はどんなプランお持ちでしょうか。ドイツ人の家庭では遊ぶために働くという思想があるためその年の夏が終わると同時に、翌年の夏の計画をたてはじめるといいますが、最近では、日本でも、若い人の中にはこの傾向が浸透しつつあるようです。

ところで、私は今期も編集の仕事をお引受けするようになってしまいました。力不足で皆さんのご期待に応えられるか、どうか、心配ですが、精一杯、努力したいとおもいます。

6月7日には、第一回の編集会議を開きました。ほとんどの方がはじめての顔合わせであるため、最初は多少ごちなかつたのです

が、皆さんに親しまれる会報を目指そうという編集方針を決定した後、委員の担当、原稿の締切り、発行予定日等々、必要な事項を決めて新しい会報の姿形が鮮明になってまいりました。新しい編集委員で素晴らしい会報づくりをしたいと思います。皆さんのご支援とご協力をお願いいたします。

(会報編集委員長 牧野 武夫)